

Fクラス採点規則

第1章 演技の採点

第1条 原則

本クラスは競技人口拡大のため「普及」を目的として開催し、体操の楽しさや面白さを知ってもらい、興味や関心を深めてもらう

第2条 演技構成

本クラスはタンブリングと跳び箱での演技を行い、選手本人のレベルに応じてカテゴリー①とカテゴリー②に分けて実施する

どのカテゴリーにエントリーしても良いが、無理な演技構成や危険な技の実施は認められない（第1章第1条の原則を遵守すること）

実施された演技を最大限評価し、演技内容の比較は行わない(選手を比べない)

◆タンブリング

カテゴリー①

・前転、後転、倒立前転などの学校体育で行われる運動を主軸とした演技構成

カテゴリー②

・前方転回、後転とびなどタンブリング系やジャンプ、ターン系を主軸とした演技構成

◆跳び箱

カテゴリー①

・跳び箱5段の高さで演技を行う(縦、横の向きは自由)

カテゴリー②

・跳び箱7段の高さで演技を行う(縦、横の向きは自由)

第3条 採点

各種目、審判員2名によって行われ、採点基準は下記表のとおり

減点方式ではなく実施した内容を加点していく(10点満点は超えないこと)

いずれかの項目で該当する部分を加点する

カテゴリー①		カテゴリー②	
タンブリング基礎点【8.5】		タンブリング基礎点【8.5】	
元気な挨拶	+0.5/+1.0	元気な挨拶	+0.5/+1.0
丁寧なポーズ	+0.5	丁寧なポーズ	+0.5
演技全体で実施した技を丁寧にいった (柔軟なども含む)	+0.3	(演技全体)でタンブリング系やジャンプ、ターン系の技を丁寧にいった	+0.3

*技数による加点ではなく、演技全体を見たうえで審判員が判断する。

カテゴリー①		カテゴリー②	
跳び箱基礎点【8.5】		跳び箱基礎点【8.5】	
元気な挨拶	+0.5/+1.0	元気な挨拶	+0.5/+1.0
丁寧なポーズ	+0.5	丁寧なポーズ	+0.5
(演技全体で)丁寧に技を行なった (元気がよく走って踏み切ったなど)	+0.3	(演技全体で)丁寧に技を行なった (元気がよく走って踏み切ったなど)	+0.3